

会議名 ニセコ町社会福祉委員会議

開催日 平成23年12月12日(木)	会議時間	開会 PM 3:00 閉会 PM 4:30
会議場所 ニセコ町役場 第2会議室	記録者 保健福祉課福祉係長 桜井幸則	
出席者 社会福祉委員 竹内弘、三橋範夫、岡田和子、岡田弘、佐々木秋男、高屋清一、林隆司、若山忠彦 小松弘幸、高木智子、佐々木涼子、会田昭彦、片山みどり、石塚崇悦 事務局 保健福祉課長高瀬達矢、福祉係長桜井幸則、福祉係谷井悦彦、介護支援係長上仙里美 その他 ニセコ町社会福祉協議会大道政彦、エリア・マネジメント・サービス(株) 長谷部副社長		
欠席者 社会福祉委員 渡部誠二		

会議日程

(1) ニセコ町第5期高齢者保健福祉計画について

会議内容

会議の主な内容は次のとおり。

■事務局より説明

- ・この会議は、前回の会議に引き続きニセコ町第5期高齢者保健福祉計画の策定委員会と位置付け、今回は当委員会の最終調整の場としている。
- ・前回会議で示した当該計画(素案原案)から、委員の皆さんから頂いた意見等を基に修正加筆を行った箇所を主に説明する。
- ・10ページ第2期ニセコ町健康づくり計画の概要については、現在策定中であり具体的内容の部分は掲載しないこととする。
- ・39ページ健康相談の充実のなかで、現在実施中の遠隔地健康相談を掲載した。
- ・42ページひとり暮らし声かけ支援事業について、虚弱な高齢者の夫婦世帯もの対象を拡大している旨記述する。
- ・43ページ生きがい活動通所支援サービスと外出支援サービスはひとつの事業として実施しており、文章表現はひとつにした。
- ・47ページ認知症高齢者GHの整備促進について新たに記述した。
- ・48ページひとり暮らし高齢者対策の推進について新たに項目をつくり、災害時要援護者避難対策支援プランの推進、救急医療情報キットの整備推進、安否確認の検討を加筆した。
- ・49ページ生きがいづくりと社会参加の促進について、高齢者の憩う交流サロンの文言を加筆した。

■質疑等

委員 16ページの介護認定者数の推移について、ニセコ町は減っているが審査の基準が変わったのか。

→審査の基準は変わっていない。各年度の10月1日を基準日として載せている。

事務局 10月1日を基準日としているは、国勢調査の基準日が10月1日となっているからである。人口の流動が一番安定している時期と考えられる。

委員 介護度の変更はどのように行っているのか。

→状態によっては1年以内でも変更はある。また病院に入院している状況に応じその病院の判断により区分変更申請が行われることがある。

事務局 再度認定者数の推移は確認するが、減少している要因等注釈を入れるなど検討する。

委員 39ページにITを活用との記述があるが、もっと詳細な記述をしては。

委員 39ページに遠隔地健康相談を実施とあるが、何件くらいやっているのか。

事務局 この事業は平成24年度末までの事業で、財源は国補助金を100%充当して実施している。ニセコ町は綺羅乃湯で実施しており、30名が登録している。他の町村は各20名の登録である。健康診査を今後1年程度実施し来年度この事業の評価を行う。毎週金曜日の午後2時から4時まで綺羅乃湯で実施しているので見学してほしい。

委員 GHの建設は5期計画の期間内でできるのか。

事務局 平成24年度設計、平成25年度着工、平成26年度夏オープンを目指している。設置運営はニセコ福祉会を予定しており現在協議を進めている。

事務局 今後の計画作成について、軽微な変更等であれば当会議は行わず2月完成とする旨を説明する。委員から了解を得られ会議終了となる。